


演題番号 P-5

病院図書室の目録業務についての考察 ～NACSIS-CAT図書書誌データ作成件数を通して～

国立精神・神経医療研究センター図書館
下山 朋幸


①研究の背景と目的

• 目録業務 ※ここでは、書誌データを記録・作成する業務を指す。
「司書は (略) 選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員です。」
(文部科学省HP「司書について」より。  傍線筆者)
• だが、現状は
大学図書館→○～△
公共図書館、学校図書館→ほぼ×
では、病院図書室では...?

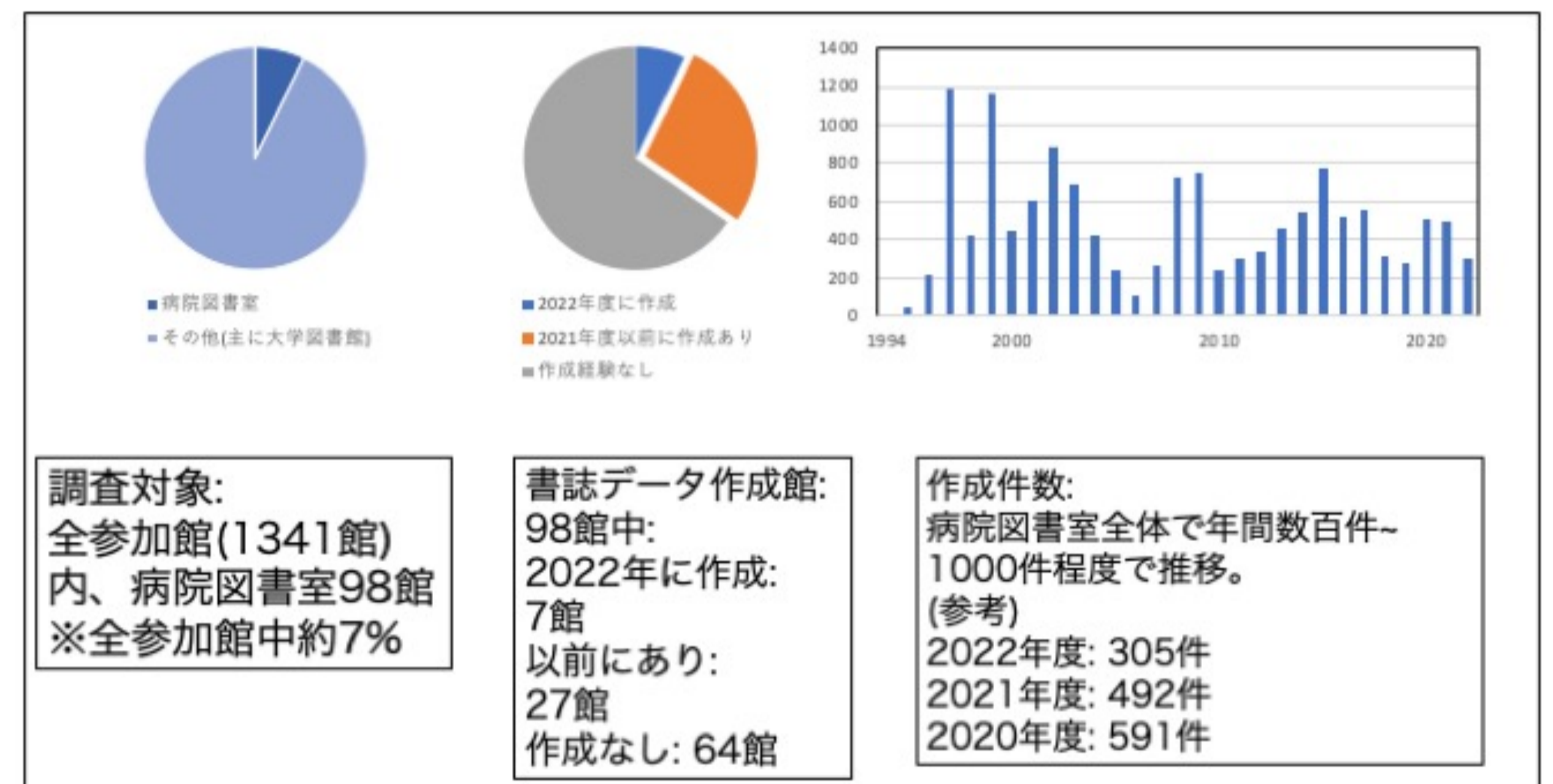
②先行研究

• 医中誌Webで「病院図書室」AND「目録」
→37件ヒット。(2023.6.8時点)
• 但し、ほとんどが自館の所蔵目録、あるいは文献複写(ILL)を目的とした総合目録のネットワーク
書誌データ作成については、解説2件のみ。
(仮説)
→関心のある、ごく一部だけ?

③調査方法

• 国立情報学研究所「目録情報所在サービス」(NACSIS-CAT) 図書書誌データ作成件数
• 我が国で唯一の分担共同入力方式による(図書館員が書誌データを作成する)総合目録
• 作成件数は、毎年参加館別に公表 (2022年度→ 
→書誌データ作成数を分析することで、病院図書室における目録業務を調査

④調査結果



⑤調査結果

図書所蔵データ件数	館数	作成あり	割合	
10000～		5	5	100%
1000～9999		15	12	80%
100～999		11	5	45%
1～99		22	7	32%
0		45	2	4%
合計		98	31	32%

調査対象全98館中
作成経験あり: 31館
但し、図書所蔵データなし(雑誌所蔵データのみ): 45館
図書の所蔵が多いほど活発。

⑥考察

• 病院図書室における目録業務は、(雑誌以外の)図書の所蔵状況が大きく影響。
• 図書書誌の所蔵登録を行っていない館が多数あるため、サンプル数が少ない。
注・雑誌については、機関ごとの作成数が一定数無いと公表されない。
•雑誌についての調査が今後の課題

⑦今後の課題

- 図書館員はどのように目録に関わっているか?
- どのように目録業務を習得しているか?
- 図書館職員への聞き取り調査を行いたい。